

おおてがわかいしゅう  
大手川改修

くふう  
いろいろな工夫

～ こどもふくどくほん おおてがわかいしゅう かんれんしりょう  
「子供副読本（大手川改修）」関連資料 ～



平成 20 年 6 月 23 日



きょうとふたんどほくじむしよ  
京都府丹後土木事務所

## はじめに

台風23号で大変大きな水害のあった大手川では、現在、本格的な改修工事を進めています。

その中で、ワークショップなどにより地域の皆さんとともに、大手川改修について、いろいろと話し合いながら取り組んでいます。

皆さんに愛される川づくりをどのようにして進めていくかなどを話し合い、それを形にしていこうと取り組みを進めているところです。

台風23号での被害やワークショップの内容、改修工事の詳しいことについては、別に作っている「子供副読本 大手川改修」を見ていただくとよく分かっていただけたと思います。

是非、ご覧ください。（丹後土木事務所ホームページでご覧いただけます。）



### 「子供副読本 大手川改修」

台風での被害、大手川改修の内容、府民の皆さんと一緒に取り組んでいることなどを分かりやすく説明しています。

まずは、こちらをご覧くださいと大手川改修のことがよく分かっています。

ホームページ

[http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/hukudoku\\_oote.html](http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/hukudoku_oote.html)

## 工事を進める上で大切なこと

大手川改修では、多くの家が建ち並ぶ市街地の中心で工事を行うことから、工事の現場を多くの方に見ていただくことができます。

また、5年間で約5キロメートルの区間を120億円という大変多くの費用で工事を行うものです。

そこで考えました！

変わりゆく大手川の改修工事を皆さんにもっと身近に感じ、身近で見えていただくということなのです。

それは何かというと、いろいろなものを分かりやすく現地で見ていただくことです。

これには丹後土木事務所の職員だけではできないことがあります。

工事をする建設会社の皆さんにも、その大切さをよく理解していただき、一緒になって良い公共工事を進めよう、愛される大手川の水辺づくりを行おうと頑張っていたことが必要となります。

ですから、工事する人たちにも高い志を持って、大手川改修に係わっていただくようお願いしています。

それではどのようなことをしているのか、一緒に見ていきましょう。

## 工事する人たちの意識改革

工事に関係する人たちに宮津市のシンボルとして、愛される大手川の水辺づくりに参画しているという意識・自覚をもってもらうことが大切です。

その取り組みとしては、次のようなことをしています。

こうじようしゃりょう  
工事用車両にエプロン

こうじ はっせい どしゃ うんぱん しょう  
工事で発生する土砂の運搬などに使用するダンプトラックにエプロンを着け  
ています。



これは、おおてがわかいしゅう こうじ しゃりょう  
これは、大手川改修の工事の車両だということが一目でわかります。

かいしゃいん なふだ つ おなじ  
会社員が名札を付けていることと同じです。

スピードを出しすぎているとか、荷物積みすぎだとか、そのようなことを

おこな  
行ったりすると、どこの会社か分かりやすくなります。

あんぜんうんてん にもつ つ す ぼうし とほくじむしょ ちゅうい  
安全運転や荷物の積み過ぎの防止など、土木事務所が注意しやすくなります。

また、こうじ かいしゃ かいしゃ かんけい ひと  
また、工事を行っている会社も会社や関係する人のイメージダウンにつながらな

いよう、みすか ちゅうい しんちょう と く  
いよう、自らも注意して慎重に取り組むことができます。

おおてがわかいしゅう ほか げんば いどう じてんしゃ  
大手川改修では、この他にヘルメットや現場を移動するときの自転車にも  
エプロンを付けています。



こうじ ひと  
工事を<sup>ひと</sup>する人<sup>ひと</sup>たちも、このよう<sup>おお</sup>な大き<sup>かいしゅうこうじ</sup>な改修<sup>かんけい</sup>工事<sup>こうじ</sup>に<sup>よろこ</sup>関係<sup>かんけい</sup>している<sup>よろこ</sup>ことを喜<sup>よろこ</sup>  
び・やる<sup>き</sup>気<sup>かん</sup>に<sup>き</sup>感じ<sup>かん</sup>て<sup>かん</sup>いただけ<sup>き</sup>る<sup>き</sup>ことを<sup>き</sup>期待<sup>き</sup>して<sup>き</sup>います。

## しみん わ こうじ 市民<sup>しみん</sup>に<sup>わ</sup>分<sup>わ</sup>かり<sup>わ</sup>やす<sup>わ</sup>い<sup>わ</sup>工事<sup>こうじ</sup>

おおてがわかいしゅう  
大手川改修<sup>お</sup>では、今<sup>いま</sup>、何<sup>なん</sup>の工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>を<sup>お</sup>して<sup>お</sup>いる<sup>お</sup>のか<sup>お</sup>を<sup>お</sup>皆<sup>みな</sup>さん<sup>みな</sup>に<sup>わ</sup>分<sup>わ</sup>かり<sup>わ</sup>やす<sup>わ</sup>い<sup>わ</sup>取<sup>と</sup>り  
く<sup>く</sup>組<sup>く</sup>み<sup>く</sup>を<sup>く</sup>して<sup>く</sup>います。

## こうじけんがくばしょ せっち 工事<sup>こうじ</sup>見<sup>けん</sup>学<sup>がく</sup>場<sup>ばしょ</sup>所<sup>せ</sup>の<sup>せ</sup>設<sup>せ</sup>置<sup>ち</sup>

まちか こうじ み  
間<sup>ま</sup>近<sup>ちか</sup>で<sup>ま</sup>工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>を<sup>ま</sup>見<sup>けん</sup>て<sup>けん</sup>い<sup>けん</sup>た<sup>けん</sup>だ<sup>けん</sup>け<sup>けん</sup>る<sup>けん</sup>場<sup>ばしょ</sup>所<sup>せ</sup>を<sup>ま</sup>作<sup>つく</sup>っ<sup>つく</sup>て<sup>つく</sup>い<sup>つく</sup>ま<sup>つく</sup>す。

## ひろば ふれあい広<sup>ひろ</sup>場<sup>ば</sup>の<sup>ひろ</sup>ノ<sup>ひろ</sup>ー<sup>ひろ</sup>ヘル<sup>ひろ</sup>・<sup>ひろ</sup>ゾ<sup>ひろ</sup>ーン

こうじげんば なか はい  
工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>現<sup>げん</sup>場<sup>ば</sup>の中<sup>な</sup>に<sup>はい</sup>入<sup>はい</sup>れ<sup>はい</sup>ば、安<sup>あん</sup>全<sup>ぜん</sup>の<sup>あ</sup>た<sup>あ</sup>め<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>ヘル<sup>あ</sup>メ<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>ト<sup>あ</sup>を<sup>あ</sup>か<sup>あ</sup>ぶ<sup>あ</sup>る<sup>あ</sup>必<sup>ひつ</sup>要<sup>よう</sup>が<sup>あ</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>す。  
ヘル<sup>あ</sup>メ<sup>あ</sup>ッ<sup>あ</sup>ト<sup>あ</sup>を<sup>あ</sup>か<sup>あ</sup>ぶ<sup>あ</sup>ら<sup>あ</sup>な<sup>あ</sup>く<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>も<sup>あ</sup>工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>を<sup>ま</sup>間<sup>ま</sup>近<sup>ちか</sup>で<sup>ま</sup>見<sup>けん</sup>て<sup>けん</sup>い<sup>けん</sup>た<sup>けん</sup>だ<sup>けん</sup>け<sup>けん</sup>る<sup>けん</sup>よ<sup>あ</sup>う<sup>あ</sup>に<sup>あ</sup>し<sup>あ</sup>て<sup>あ</sup>い<sup>あ</sup>ま<sup>あ</sup>す。  
こ<sup>こ</sup>こ<sup>こ</sup>で<sup>こ</sup>は、テ<sup>な</sup>ン<sup>な</sup>ト<sup>な</sup>の中<sup>な</sup>で<sup>な</sup>ベ<sup>す</sup>ン<sup>す</sup>チ<sup>す</sup>に<sup>す</sup>座<sup>す</sup>っ<sup>す</sup>て<sup>す</sup>ゆ<sup>ら</sup>っ<sup>ら</sup>く<sup>ら</sup>り<sup>ら</sup>と<sup>ら</sup>ご<sup>ら</sup>覧<sup>ら</sup>い<sup>ら</sup>た<sup>ら</sup>だ<sup>ら</sup>け<sup>ら</sup>ま<sup>ら</sup>す。  
ま<sup>ま</sup>た、テ<sup>こうじ</sup>ン<sup>せつ</sup>ト<sup>めい</sup>に<sup>お</sup>は<sup>お</sup>工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>の<sup>お</sup>説<sup>せつ</sup>明<sup>めい</sup>パ<sup>お</sup>ネ<sup>お</sup>ル<sup>お</sup>も<sup>お</sup>置<sup>お</sup>い<sup>お</sup>て<sup>お</sup>あ<sup>お</sup>り<sup>お</sup>ま<sup>お</sup>す<sup>お</sup>の<sup>お</sup>で、ど<sup>お</sup>の<sup>お</sup>よ<sup>お</sup>う<sup>お</sup>な<sup>お</sup>工<sup>こうじ</sup>事<sup>こうじ</sup>  
を<sup>すす</sup>進<sup>すす</sup>め<sup>すす</sup>て<sup>すす</sup>い<sup>すす</sup>る<sup>すす</sup>の<sup>すす</sup>か<sup>すす</sup>が<sup>すす</sup>見<sup>すす</sup>て<sup>すす</sup>い<sup>すす</sup>た<sup>すす</sup>だ<sup>すす</sup>け<sup>すす</sup>ま<sup>すす</sup>す。



ノーヘルとは、ノー・ヘルメットの略<sup>りゃく</sup>です。

ここでは、<sup>みやづしどう</sup>宮津市道である<sup>なかばし</sup>中橋を<sup>か</sup>架け<sup>か</sup>替える<sup>こうじ</sup>工事を<sup>め</sup>目の<sup>まえ</sup>前で<sup>みて</sup>見ていただけま  
す。ベンチが<sup>お</sup>置いてあります。

ここは、<sup>ちか</sup>近くにある<sup>みやづしょうがっこう</sup>宮津小学校の<sup>じどう</sup>児童と<sup>みやづようちえん</sup>宮津幼稚園の<sup>えんじ</sup>園児が<sup>か</sup>書かれた<sup>え</sup>絵をパ  
ネルに<sup>は</sup>張り<sup>つ</sup>付けてあります。(実際の<sup>じっさい</sup>絵を<sup>え</sup>貼っているわけではありません。コ  
ンピュータで<sup>え</sup>絵を<sup>よ</sup>読み<sup>こ</sup>込んで<sup>べつ</sup>別に<sup>いんさつ</sup>印刷したものです。)

また、<sup>なかばし</sup>中橋の<sup>こうじ</sup>工事の<sup>くっさく</sup>掘削で<sup>で</sup>出た<sup>げんち</sup>現地の<sup>つち</sup>土を<sup>てんじ</sup>展示して、このあたりは、どのよ  
うな<sup>せいしつ</sup>性質の<sup>つち</sup>土で<sup>わ</sup>できているのかが<sup>わ</sup>分かります。イメージアップとしての<sup>はな</sup>花も<sup>かさ</sup>飾  
っています。



## いろいろな掲示物

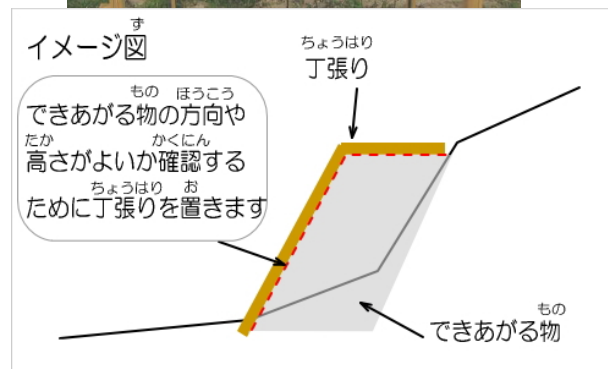
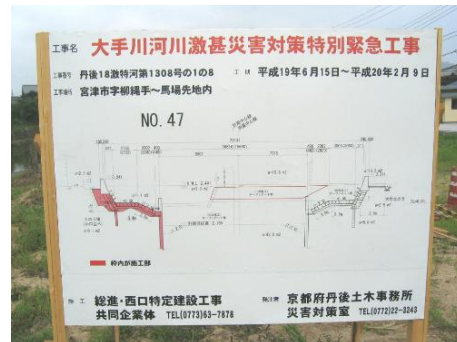
この他にも、たくさんの掲示物があります。

### わかりやすい丁張り

工事を行うときは丁張りを設置します。

これは、普通は木の板でできていて、工事を行う作業員が掘削などを行うときの目印です。

そのとおりに掘るときもありますし、掘削する面に直接置けないときは、30センチメートル上に設置するなどを行います。（そのときは、板に「30センチメートル上がり」などと書きます。）



丁張りがあると、その高さまで掘るとか、護岸などの構造物が出来上がる  
とかが目で見て分かりやすくなります。

### わかりやすい工事説明図

何の工事を使用としているのか、今、どこまで進んでいるのかが分かりやす  
いよう工事説明図を置いています。

これによって、ここは<sup>なに</sup>何をしようとしているのか、<sup>さいしゅうてき</sup>最終的には何が<sup>なに</sup>出来上がるのか<sup>わか</sup>りが分かりやすくなります。



これは<sup>きょうぐちばし</sup>京口橋の<sup>か</sup>架  
<sup>か</sup>け<sup>こうじ</sup>替え工事の<sup>せこう</sup>施工  
<sup>じゆんじょ</sup>順序を<sup>せつめい</sup>説明したも  
 のです。

けいじばん  
 掲示板



みやづしょうがっこうまえ けいじばん  
 宮津小学校前の掲示板



みやづしやくしょまえ けいじばん  
 宮津市役所前の掲示板

みやづしやくしょ まえ みやづしょうがっこうこもん よこ おおてがわかいしゅうこうじ せんよう けいじばん  
 宮津市役所の前と宮津小学校校門の横に大手川改修工事の専用の掲示板を  
 せっち  
 設置しています。

ここに、「<sup>おおてがわ</sup>大手川だより」など、<sup>おおてがわ</sup>大手川に<sup>かん</sup>関する<sup>じょうほう</sup>いろいろな<sup>けいじ</sup>情報を<sup>けいじ</sup>掲示して  
 います。



おおてがわ 大手川だよりは、まいつき か はっこう ちいき みな くば  
毎月20日に発行し地域の皆さんに配っています。

たんごどほくじむしょ しょくいん じょうほう くふう はっしん  
丹後土木事務所の職員がいろいろな情報を工夫しながら発信しています。

さいきん しみん みな たよ い  
最近では市民の皆さんからのお便りも入れています。

ホームページでは、さらに詳しく、ビジュアルにして作っていますので、こ

ちらも是非ご覧ください。

まいつき か はっこう おおてがわ  
毎月20日に発行している「大手川だより」の  
じもと くば  
地元に配っているものです。  
ばん つく  
A4版で作っています。



おおてがわ  
大手川だよりホームペ  
ージ版(もっと詳しく、  
おもしろく)

[http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/oote\\_tavori.html](http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/oote_tavori.html)



## おわり 終わりに

おおてがわかいしゅう おこな くふう りかい  
大手川改修で行っている、いろいろな工夫についてご理解いただけでし  
ょうか？

ほか くふう こんご ひ つづ がんば くふう  
この他にもいろいろ工夫しています。今後も引き続き頑張って工夫したいと

おも  
思います。

ぜ ひ か おおてがわ おおてがわかいしゅうこうじ ようす げんち らん  
是非、変わりゆく大手川と大手川改修工事の様子を現地でご覧いただきたい

おも  
と思います。

ノーヘル・ゾーン



なかばしてんぼうだい  
中橋展望台



はっこう へんしゅう  
発行・編集

きょうとふたんどごぼくじむしょ きょうとふたんどごういきしんこうきょくけんせつぶ  
京都府丹後土木事務所（京都府丹後広域振興局建設部）

きょうとふみやつしあざよしわら  
〒626-0044 京都府宮津市字吉原2586-2

きょうとふたんどごういきしんこうきょくみやつちようしゃ  
京都府丹後広域振興局宮津庁舎

でんわ だいひょう  
電話（代表） 0772-22-3244 FAX 0772-22-3250

Eメール [tanshin-do-tango@pref.kyoto.lg.jp](mailto:tanshin-do-tango@pref.kyoto.lg.jp)

おおてがわかいしゅう かん と あ さき  
大手川改修に関するお問い合わせ先

さいがいたいさくしつ でんわ  
災害対策室 電話 0772-22-3243 FAX 0772-22-3250

ホームページ

URL <http://www.pref.kyoto.jp/tango/tango-doboku/index.html>